



センターWebページへ

トップ

教職員研修講座

講座紹介・受講者の声

ライブラリ新着情報

ハイライト:

「教職員研修講座」では今年度注目の講座を紹介！さらに「講座紹介・受講者の声」では実際に受講した方の生の声を聞くことができます。また、「ライブラリ紹介」では八戸市立下長小学校がPISA型「読解力」の向上に正面から挑んだ実践記録を紹介しています。

目次:

教職員研修講座の状況	2
今年度の注目講座！	2
講座紹介・受講者の声	3
センター研究成果	3
ライブラリ紹介	4

青森県総合学校教育センター

センターだより

巻頭言 「学校支援をめざすセンター」

センターから望む八甲田連峰の残雪もすっかり消え、緑濃い山並みに、夏の近づきを感じられる今日この頃です。

私は、現在のセンターが完成する平成9年に、旧教育センターの副所長を務めました。当時のことがいろいろ思い起こされます。青森高校の隣りにあった「教育センター」、新城地区にあった「情報処理教育センター」と適応指導を行う「こころの教育相談センター」の機能を一本化し、また、それまで教育庁各課で行われていた研修事業と新たに教職員のニーズや社会の変化に対応した講座等も加え、本県における研修・研究・教育相談等を総合的に行う教育機関としての「青森県総合学校教育センター」の開設準備に携わりました。

旧教育センターの通常業務を進めながら、研修事業の体系化・予算化、移転作業の準備、条例・規則の制定、職員定数の確保、その他備品等の購入、管理委託契約、開所式の準備などに追われていたことなどが、次々と目に浮かんできます。

さて、その総合学校教育センターも、開所10年という節目を過ぎ、今年で11年目を迎えています。

教育改革という大きなうねりの中で、平成18年12月には約60年ぶりに教育基本法が改正され、それを受け、いわゆる「教育関連三法」が成立しました。また、今年3月には小・中学校の学習指導要領が告示されましたし、高等学校・特別支援学校についても今年度内に告示される予定となっており、「新しい時代の教育」に向け一歩を踏み出していると言えるでしょう。

一方、本県においては、国の動向を踏まえつつ、教育は「人づくり」の原点に立ち、学校運営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努めることを大きな柱とし、学校、家庭、地域が一体となり子どもたち一人一人の可能性を引き出し、花開かせる教育施策の充実に取り組んでいるところです。

とりわけ、子どもたちに生きる力としての「確かな学力」を身につけさせ、「豊かな心」を育成することが、喫緊の課題となっていることは、ご存じのとおりです。

このような中で、当センターでは、新学習指導要領を見据え、12年間にわたる継ぎ目のない教育を意図しつつ、203講座を開設し、本県教職員の資質能力の向上に寄与しようとしています。また、日々の教育相談業務に力を注ぐとともに、今日的な教育課題の解決に向けた研究業務にも、センター一丸となって取り組み、学校支援に努めていきたいと考えています。

結びに、本県の教職員の方々には、子どもたちの夢をはぐくむ教師、使命感と情熱を持った教師、そして学び続ける教師であってほしいと切に願っております。

今後とも、総合学校教育センターとして学校を支えるきめ細かなバックアップ体制を整えていきたいと思っておりますので、センター業務等に関して忌憚のない御意見や御要望をお寄せいただければ幸いです。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」



青森県総合学校教育センター
所長 石橋敏夫

トップ

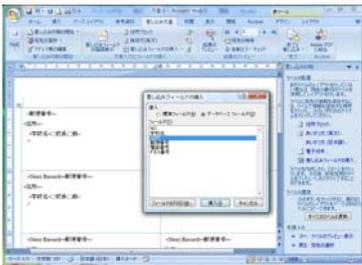
教職員研修講座

講座紹介・受講者の声

ライブラリ新着情報

【今年度の注目講座と
講座紹介について】

センターの研修を身近に感じてもらい、受講の参考としてもらうために、実際の研修の様子を講座担当者から紹介します。



講座番号813 宛名ラベル作成画面



講座番号813 成績通知表作成画面



講座番号517 講義の様子

平成20年度 教職員研修講座の状況

【平成20年度研修講座】

当センターでは、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資するため各種の研修を行っています。研修は、「初任者・新規採用者」「経験者」「職務」「教科」「教科外」「特別」、それぞれの体系によって組織され、講座数は203となっています。

各講座においては、①学習指導要領の趣旨・内容の重視②学校教育の情報化に対応した内容③学校が直面している教育課題への援助④指導と評価の一体化についての内容⑤個に応じた指導・特別の支援を必要とする子どもの教育についての内容を重点項目とし、講座内容の評価・見直しを図り、受講者のニーズにあった講座内容を目指しています。

【追加申込みについて】

「職務」「教科」「教科外」それぞれの研修において、講座開催1か月前まで追加申込みを受け付けています。希望する講座があれば、講座担当者まで、まずは電話連絡をお願いします。当センターのWebページの「追加申込みについて」も参考にしてください。

今年度の注目講座！

【平成20年度研修講座申込状況】(延べ数)

研修体系	講座数	申込者数等
基本研修	57	2426
初任者研修	34	1127
新規採用者研修	7	59
教職経験5年研修	7	217
10年経験者研修	9	1023
職務研修	17	798
専門研修	124	2840
教科研修	58	931
教科外研修	66	1909
特別研修	5	24
合計	203	6088

講座番号813 ソフトウェアの係係・活用講座

授業プリントや教材の作成、生徒住所録や成績の管理など、日常の学習指導や校務処理において、パソコンは必須のものとなっています。本講座では、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等、さまざまなソフトウェアで作成したそれぞれのデータを、別なソフトウェアに取り込んで活用するといった、ソフトウェアの係係に関する知識と技術について研修します。

【研修内容の一例】

- ・Excelの住所録から、Wordで一覧表や宛名ラベルを作成
- ・Excelの成績一覧表から、Wordで成績通知表を作成
- ・PowerPointスライドから、Wordで配付資料を作成
- ・テキストファイルからのファイル変換
- ・データのリンク、ハイパーリンクの設定
- ・個人情報管理ソフト (Outlook) の活用

受講の追加申込みは8月29日まで可能ですが、定員になり次第締め切らせていただきます。

パソコンを効果的に授業や校務処理に活用していきましょう。

講座番号517 こどもの育ちを支える教育研修講座

本講座は平成19年度まで幼児教育研修講座として開講していました。教育基本法の改正に伴い、文部科学省から「幼児教育振興アクションプログラム」の7つの施策の柱の一つとして「発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実」が示され、幼児教育と小学校教育との連携を推進することにより、幼小のギャップをなだらかな移行で埋める取組が求められました。そこで、幼児期から児童期の育ちや発達、その対応について幼、小の先生方、あるいは特別支援の先生方が一緒に研修し、相互理解を深めることをねらいに新たに講座を構築しました。講師は、約20年にわたって幼児教育の現場で実践を積み、いまは研究の場で指導的な立場にある鎌倉女子大学准教授富田久枝先生です。受講生の感想には「講義は興味深く、子どもの発達段階やそれを支える援助について、校種を越え学ぶことができ、現場での連携にも役立つものであった」という意見が多く、大変好評でした。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

講座番号042 初任者研修（特別支援学校）特別支援教育実践基礎講座Ⅰ 5/29～30開催

この講座は、特別支援学校に新規採用された先生方を対象にして、障害特性の理解に関する基礎的研修を行い、実践的指導力の向上を図ることを目的に行われました。

受講した先生方からは、「今、生徒や保護者とかかわる時に悩んでいることを協議し、たくさんの意見を聞くことができ、とても参考になった。」「ICFの視点によって、障害をどのようにとらえ、支援・援助していけばよいのかをワークシートを使って考えることで、理解を深めることができた。」「様々な悩みや不安を抱えている先生方とのインシデント・プロセス法によって、私自身が抱えている課題への解決策の方向性を見いだすことができた。」「『発達障害』についての知識・理解を深めることができた。また、発達障害児・者の疑似体験を通して、自分の学級の子どもがどのように困っているのかを考える際の参考になった。」等の感想が寄せられました。教員として採用され2か月、児童生徒への対応等で不安や戸惑いを感じて過ごす初任者たちにとって、それぞれが悩んでいることについて、共感的な気持ちでお互いに意見を出し合うことで、新たな視点を発見する良い機会となったようでした。

講座番号271 高等学校理科実験講座〔生物〕 7/8～9開催

この講座は、高校と特別支援学校で理科を担当されている先生方を対象に、「生徒の学習意欲を高めるために、教材の分析・実験観察の方法・地域素材の教材化について研修し、指導力の向上を図る」ことを目的として開催しました。

1日目の講義・実習では、先生方が日頃から頭を悩ませている探求活動・課題研究について、「明日からでも実践できる内容」であることを大前提に、「身近な素材からのDNAの抽出」、「便利な光合成色素の抽出法」、取り出したDNAや光合成色素を用いての簡単な実験、「紙粘土を用いた発生の学習」などを紹介しました。

2日目は、東北大学大学院生命科学科附属浅虫海洋生物学研究センターとその周辺で野外実習を行いました。午前中は、絶好の野外実習日和の下、半ズボンやTシャツを濡らしながらの磯採集・観察、午後は、ウニの発生実験に関する様々なテクニックを講師の経塚啓一郎先生に教えていただきました。「うまくいくはずなのに、実際にやってみるとなかなか思うようにいかない」理由が判明したことで、早速、経塚先生に分けていただいたウニや海水を持ち帰り、生徒たちに体験させたいという先生もいました。

参加された先生方の研修に取り組む非常に積極的な姿勢や、経塚先生の豊富な知識と懇切丁寧なご指導、そして最高の天気のおかげで、とても充実した研修になりました。

センター研究成果

平成19年度のセンター研究の中から、学校教育で参考となる主な研究について、それぞれ研究の主題及び要旨を紹介します。

◆義務教育課

<主題> 望ましい学校評価の在り方と教育課程編成に関する研究
 ー学校評価における自己評価の問題点の改善を通してー

<要旨>

児童生徒がより良い学校生活を送ることができるようになるためには、学校評価において教職員による的確な自己評価が行われ、その結果を積極的に教育課程編成に生かしていく学校評価システムの確立が不可欠である。そこで、アンケート調査を通して自己評価における問題点を明らかにし、問題点の改善策を的確に取り入れた学校評価システムを考察することで、望ましい学校評価の在り方と教育課程編成に関する提案を行った。

◆産業教育課

<主題> オープンソースソフトウェアの利用に関する研究
 ーマルチブートによる複数OSの利用ー

<要旨>

授業や校務でのコンピュータ活用は今や必要不可欠である。コンピュータの活用が進む中、教育現場におけるオープンソースソフトウェア（OSS）利用の可能性が注目されてきている。教育現場においてOSSに触れる機会を得るため、既存のコンピュータ資源でマルチブートの環境を構築し、OSSによるコンピュータ活用の可能性を広げる一助となる研究を行った。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」



初任研 特別支援教育実践基礎講座Ⅰ

追加申込みについて

講座要旨の調査結果を基に追加申込みの可否を判断いたします。追加申込みを希望する場合は、講座申込みに電話でお問い合わせください。受講料は別途お支払いとなります。*

※追加申込みは申し込み当日の午後5時までにお願いします。*

講座番号	講座名	開催期間	申込人数	申込状況
010	小学校英語活動研修講座	05/28-08/27	5/71	終了
112	研修士研修講座	05/29-08/27	5/72	終了
110	障害児支援研修講座	06/05-06/06	5/20	終了
206	高等学校国語科教育講座	06/09-06/10	5/20	終了
283	高等学校英語コミュニケーション実践講座	06/11-06/13	5/20	終了
504	高等学校総合学習の時間研修講座	06/11-06/12	5/20	終了
600	教育実践研修講座	06/11-06/12	5/20	終了
818	研修士研修講座	06/12-06/13	5/20	終了
405	国際教育研修講座	06/19-06/17	4/22	終了
114	主任指導主任・主事研修講座	06/19-06/19	5/20	終了
807	リーダー研修講座	06/19-06/20	4/22	終了

追加申込みについて
 まだ申し込みが間に合う講座があります。
 すぐクリックしてご覧ください！



センター研究発表会の様子

トップ

教職員研修講座

講座紹介・受講者の声

ライブラリ新着情報

－新着情報－

今年度第1次購入分の新着図書の一部をご紹介します。これ以外にもライブラリでは、教育・研究分野の最新情報やすぐに役立つマニュアルなど、先生方の要望にお応えできるよう取りそろえていますので、来所の際はどうぞご利用ください。

書名	編著者	発行・出版社
教育評価入門－学びと育ちの確かめのために－	梶田敬一	協同出版
フィジックの理科教育－高度な学びと教員養成	鈴木誠	明石書店
夫体写真の写しかたがわかる本	藤井旭	誠文堂新光社
イラストと写真で見るマステゲーム	濱田靖一	大修館書店
特別支援教育コーディネーターのための対人ゲーム活用マニュアル	田上不二夫 他	東洋館出版社
発達障害をもっと知る本「生きにくさ」から「その人らしさ」に	宮尾益知	教育出版
厳選！教員が使える5つのカウンセリング	米田薫	ほんの森出版
ものづくりと人づくり あした輝くテクノロジストへ	野村東太	日刊工業新聞社
プレゼンテーションと効果的な表現 話の目的から考える表現技術	浅井宗海	SOO
たのしいグルーワーク	大阪グルーワーク研究会	遊戯社
PISA型「読解力」を育てる授業提案	八戸市立下長小学校	東洋館出版社

－新着図書紹介－

【PISA型「読解力」を育てる授業提案】

2000年からはじまったPISA調査は、2003年の結果公表で「読解力」の低下と騒がれ、その後の日本の教育現場に大きな影響を与えています。全国学力・学習状況調査でもPISA調査を意識した「活用型」の問題が取り入れられ、各校ともこれまでの授業の見直しを迫られているのではないのでしょうか。

本書は、八戸市立下長小学校がPISA型「読解力」の向上に正面から挑んだ実践記録です。筑波大学附属小学校の白石範孝教諭の助言のもと、「論理的に考えられる学習材の〈しかけ〉作り」や「根拠を明らかにできる〈発問〉の工夫」についての研究を重ね、全クラス・全教員が授業実践研修に取り組みました。「説明的文章編」「文学的文章編」「詩・短歌・手紙編」のほか、「PISA型『読解力』を支える基盤作り」として朝の会などでも使える「国語のミニネタ集」も紹介されています。

新しい国語の授業づくりに取り組んでみたくなる1冊です。



PISA型「読解力」を育てる授業提案

お知らせ

－授業情報システムを更新します！－

現在稼働している授業情報システムは、8月中旬をめどに、より使いやすい新授業情報システムに更新されます。新授業情報システムでは、以下のことが可能になります。

- 1 容量の拡大
1件の授業情報が、5MBから100MBへ！
音声・静止画・動画を取り込んだ、マルチメディア教材も登録可能。
- 2 使いやすい検索メニュー
検索は、「新着の授業情報」「ベストアクセス」「キーワード検索」「校種・学年・教科による検索」の4分野で可能。
すべてユーザのトップページから利用可能！
- 3 わかりやすい投稿手順
授業情報の投稿が、17段階から3段階に、大幅に簡素化！

どうぞご活用ください。

編集後記

おかげをもちまして、「センターだよりWeb版」も今年度3年目を迎えることができました。今年度も3回（7月、11月、3月）の発行を計画しておりますが、これまで以上により鮮度の高い情報を提供できるよう、内容もさらに充実させていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。また、併せてセンタートップページもリニューアルいたしましたので、様々な情報収集にお役立ていただければ幸いです。皆様の御意見や御要望も合わせてお待ちしております。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

教職員研修講座

講座紹介・受講者の声

ライブラリ新着情報



新授業情報システムのログイン画面

授業情報システムとは

学習指導案、教材教具、音声教材、プレゼンテーション素材、プリント等の授業情報を、電子ファイルで提供するシステムです。利用するためには、既に配布済みの、利用者ID・パスワードが必要になります。